

インド訪問から見た共に 世界へ挑む日印関係へ

9月20日から23日まで、自民党国際局長として、インド政府の招聘を受けて同国を訪問しました。2023年、文部科学大臣政務官としてG20文化大臣会合に出席して以来、3年ぶりのインドです。

《スピードとダイナミズム》

改めて肌で感じたのは、インドの成長の「スピード」と「ダイナミズム」です。

進むインフラ整備やデジタル化、成長する産業、そして若い世代のエネルギーなど、国全体がものすごい勢いで前へ進もうとする熱気を感じました。

インドは2047年の先進国入りを目指し、「メイク・イン・インド」のもと、製造業の振興を進めています。半導体、EV、AI・デジタル、クリーンエネルギーなど、自国でつくり、技術を育て、世界へ展開する動きが加速しています。街を走る車にも変化が表れています。日本車は今も大きな存在感を持つ一方、インドや韓国メーカー、EVも目立ちます。日本が築いてきた地位を、当然のものと考えることはできません。

《日本は、インドと何を生み出すのか》

政府関係者や企業、シンクタンクとは、経済安全保障、半導体、AI・デジタル、防衛、人材交流など

について議論しました。

訪問したインド工科大学デリー校（IITデリー）では、卒業生らが数多くのユニコーン企業を生み出し、世界を相手に事業を行っています。その挑戦を成長につなげる土壌には、日本も学ぶべきものがあります。

14億人を超える人口、豊富な若い人材、巨大な市場、そして社会実装のスピード。成長するインドに日本は何を提供し、ともに何を生み出せるのか。それが問われているように感じました。

《歴史を知り、未来を考える》

今回、日印関係の歴史についても多くを学びました。

レッド・フォートでは、インド独立運動を率いたスバス・チャンドラ・ボースやINA（インド国民軍）と日本との関わりに触れ、「日本人として、もっと知っておくべき歴史だ」と感じました。

インドは、自国の戦略的自律性を重視し、特定の国だけに依存しない全方位外交を展開しています。そのインドと日本の間には、経済や安全保障上の利害だけでなく、長年にわたる交流と歴史の積み重ねがあります。この土台を未来の協力につなげていくことが重要です。

《「日本の技術×インドの市場」の先へ》

インドと本格的に仕事をするには簡単ではありません。文化や価値

観、意思決定のスピード、商習慣も違います。私自身、10代で欧州に渡り、異文化の中で挑戦してきました。そこで学んだのは、自分の軸を持ちながら、違いから学び、それを自らの強みに変えることです。インドとの関係にも、同じ姿勢が必要で

す。これからは「日本の技術×インドの市場」という関係をさらに発展させ、両国で技術やビジネスをつくり世界へ展開する関係を築く必要があります。日本がインドを選ぶだけでなく、インドからも日本が「ともに挑戦する国」として選ばれるために何が必要なのか。今回の訪問で強く問いかけられた課題です。

《日印で世界へ。豊橋・田原から》

ものづくり産業が集積し、豊橋技術科学大学を擁する豊橋・田原にも日印協力を地域の力に変える可能性があります。今回得た知見やつながりを地域の企業や大学と共有し、技術協力や産業の発展、新たな事業に繋げる。インドの成長力と、日本の技術・ものづくりの強みを生かし、地域の新たな成長に繋げる。その具体的な一歩を、地元からつくっていきます。



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram



やまもと・さくら

愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。44歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧24歳、当時日本人最年少F1ドライバードビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さくらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙にて落選。2026年第51回衆議院議員総選挙にて2期目の当選。英語スペイン語を話すマルチリンガル。

衆議院議員

山本左近

ともに世界へ挑む日印関係へ



IIT（インド工科大学）を視察。約1.2万人が学ぶインド屈指の理工系大学。卒業生が設立した48社がユニコーン企業に。高度人材の交流について意見交換。



インド政府機関やシンクタンク機関の研究者らとオープンな議論。対話では、両国が共同で世界に向けたソリューションを創り出す関係へ発展させていくべきと。



ミスリ外務次官と会談。経済・安保・外交など多岐にわたる意見交換。また外務次官が私のことをF1ドライバー時代から知っており、大変驚きました。



8月まで駐日EU大使としてご活躍されていましたが、まさかのホテルでばったり遭遇！着任後まもない新鮮なお話を聞かせていただきました。



インド独立の歴史上、重要なレッドフォートを視察。ここでは、インド独立を掲げたスバス・チャンドラ・ボースとインド国民軍（INA）の活動が紹介されており、当時日本と協力していた事実も展示されていました。



シン防衛次官との会談。安全保障環境から、防衛産業、宇宙、サイバーロボティクス、AI、造船、経済安保など幅広く率直な議論となりました。日印の防衛協力は、すでに共同訓練など実施されております。



豊橋青年会議所主催の＃超どいいじゃん豊橋！へ。地元の農家さんと小学生の皆さんによる「ライスクラフト」。田植えから稲刈りのみならず、パッケージから販売にも挑戦。私も一袋購入！子供達が地元のお米づくり体験できる貴重な機会。



デザイン書道作家の鈴木愛さんによるデザイン書道体験で「夢」の一字に挑戦。何度か書き直ししながら最後は色紙に書きました。また高校生が運営する茶道体験にも参加。保育園児のお嬢さんと一緒に楽しく薄茶を一品いただきました。



アジア大会が始まりました。開会式当日の朝は、ライオンズクラブが合同開催した豊橋市民球場の清掃活動に参加。球場周辺のゴミ拾いを行いました。表は綺麗に見えても垣根の中にゴミが入り込んでいることが多かったので、しっかりと中から取り出しました。



芦原校区の総踊り大会に出席。老若男女、地域の皆さんと一緒に踊らせていただきました。たくさん交流させていただきました。夏祭りの時期よりも過しやすいとなりましたが、少し踊るとまだ暑くなりますね。これから秋のお祭りがどんどんと続いていきます。お祭りは、人と人を繋ぎ、世代を繋ぎ、地域を元気にする大切な力だと改めて感じました。

JAPAN as No.1 Again!

日本を再び世界一の国へ